

J E A S

メーカー9社が説明

保安強化の情報交換会

日本万引防止システム協会（JEAS・東京都新宿区、稲本義範会長）は8月21日、「第2回・交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト情報交換会議」をオンラインで開催した。

稲本会長と豊田孝志プロ



オンライン会議の様子
（JEAS提供）

ジェクトリーダー、オプザバーとして国土交通省鉄道局総務課危機管理室・橋本真和氏、セキュリティ機器メーカー9社の担当者など21人が参加した。

同会議は鉄道など公共交通機関や商業施設の保安強化に向けて情報交換を行うことが趣旨で、2年ごとに開催している。

各メーカーの担当者は、国交省が運用する新技術情報提供システム（NETIS）登録製品など自社の最新機器やシステムについて説明した。

参加者からは「他社の製品を学ぶ機会がなかったのが貴重な場になった」「画像を使った見守り機器の『安全面の企画』を官民一体で整備する必要性を感じた」などの意見があった。

国交省・橋本氏は「鉄道事業者の方々と安全対策を進める上で、先端技術の動向を常に注視し状況把握に努めている。今日は改めて関連製品についての理解が深まりました」と総括した。

△参加したメーカー▽キヤノンマーケティングジャパン、セーフティーサイエンスアーツ、パナソニックコンネクト、ダイワ通信、アクシスコミュニケーションズ、i-PRO、Cansley、Deep Innovations、パトライト